

Basic information

法人設立年月日	2003年10月28日
指定年月日	2022年12月19日
資本金等	資本金 83,500千円
株主・構成団体等 (出資割合)	商工会議所会員を中心とする52の企業、個人
職員数	17名（うち正社員9名）

■ 法人の紹介

中心市街地活性化をデベロッパーとして官民協働で推進するため増資を行い、複合商業施設（マルシェ）、居住施設、社会福祉施設（保育所、医院）を市街地再開発事業等で建設し、地域のコミュニケーションの再生を目指している。

■ 官民協働による事業推進体制

事業実施にあたって、市との連携を図り、国交省、経産省などの制度を最大限に活用して中心市街地の活性化に取り組んでいる。
2007年に富良野市、商工会議所、富良野農協等9団体のステークスホルダーで「富良野市中心市街地活性化協議会」を設立し、「富良野市中心市街地活性化基本計画」の提案を行った。

■ 活動エリア（約9.2ha）

富良野駅から国道38号までの5条通り商店街沿いを中心とした約9.2haを主な活動エリアとしています。



Project

1 フラノマルシェ

（収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地）

■ 普通財産の活用

約2,000㎡の市有地を固定資産見合い価格で借受け、市民、観光客に富良野の食文化を堪能してもらうとともに、来場者をまちなかへいざなう「おもてなしの拠点」として年間約120万人の方々においでいただいている。



2 健康増進施設（ふらっと）

（収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地）

■ 公共施設の指定管理受託

富良野市駅前埼葛事業で建設したプールとスポーツジムからなる健康増進施設の指定管理業務を受託し、市民が安価でしかも利用しやすい施設運営を行っている。



Hot topic

■ 更なる「賑わいの場」を目指して！

弊社の活動エリアは、中心市街地活性化基本計画において「賑わいの場」として位置づけられており、マルシェエリアから富良野駅に向かって集客拠点を連動していく整備を進めていく予定である。整備にあたっては、商業集積・共同化、観光集客施設整備、都市機能充実が不可欠となる。これらの目的を達成するため市街地再開発事業の実施を検討する。



活用している各種まちづくり制度

3 コンシェルジュフラノ

（収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地）

■ 空きビルのリノベーション

中心市街地にある4階建ての呉服店の閉店により周辺商店街の集客対策や空きビル活用などが中心市街地活性化協議化で論議され、「観光・滞在・食」をキーワードとした複合商業ビルにリノベーションした。



4 フラノネーブル（マンション）

（収益事業・非収益事業 / 公有地・民有地）

■ 街中居住の促進

2015年にマルシェ2の2階から7階に18戸の居住スペースを富良野市の長年の課題となっている街中人口の減少に歯止めをかける目的で建設した。歩いていける距離に商店、医療施設、福祉施設、駅がある。



制度の種類	活用	締結・活用時期
①地区再生整備計画の提案	✓	2022年2月28日
②道路占用許可特例制度の活用		
③都市公園の占用許可特例制度の活用		
④都市利便増進協定の締結		
⑤都市再生（整備）歩行者経路協定の締結		
⑥低未利用土地利用促進協定の締結		
⑦公園施設設置管理協定の締結		



<https://machi.furano.jp>